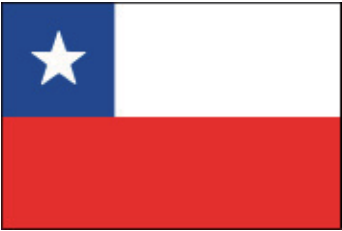


チリ共和国			首都	サンティアゴ
 <p>赤は独立のとき流した血を、白はアンデスの雪を、青はチリの海と空を、星は国の統一への願いを表している。</p> <p>独立：1810/9/18 スペインより 国連加盟：1945/10/24 政体：共和制</p>	国の概要	国土	面積 75万7,000 km ² (日本の約2倍) アンデス山脈と太平洋に挟まれ、東西100~350 km、南北4,270 kmの細長い国土で、5,000 m級のアンデスの尾根を国境線としている。北部はアタカマ砂漠など荒涼とした地形が多く、南部のパタゴニア地方は、無数の島々、湖沼、フィヨルドによる複雑な地形をみせている。火山帯に属しているため、地震が多発する。イースター島も含まれる。	
		人口	1,630万人	
		言語	スペイン語(公用語)	
		通貨	ペソ	
		気候	北部は乾燥が激しく海岸まで砂漠気候である。中央部は夏季に高温乾燥、冬季に温暖湿潤の地中海性気候、南部は冷涼で降雨が多いヨーロッパ型の西岸海洋性気候で大森林が発達し、最南部は年中天候が不順で、強風が吹き荒れる寒帯気候である。	
		民族	メスティーソ(白人とインディオの混血)65%、ヨーロッパ系30%、インディオ5%	
		宗教	カトリック89%、プロテスタント11%	
教育制度の概要	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園(1歳・・・歩けるようになったら)、入学前(1年間学校に通う、5歳)、初等教育8年(6歳~13歳)、中等教育(職業教育を含む)4年(14歳~18歳)、18歳からの大学(1年生~5年生または6年生、学部によって違う)である。ドイツとフランスをモデルにした。 ・中等教育は進学を目的とした普通中学と就職及び専門技術を身につけることを目的とした技術中学がある。技術中学には商業科、農業科、職業科、女子職業科があり、国の助成はない。 		
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年5月の教育法改正により、従来、義務教育は初等教育(6歳から13歳)の8年間としていたものを、中等教育4年間(14歳~18歳)をプラスし、計12年間とした。 ・公立の小学校は無料だが、中学校は私立はもちろん公立(市立)でも生徒数に見合った補助金しか出ないため有料である。 		

	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校年度は 3 月第 1 週目～12 月第 3 週までである。 ・ 公立校は 2 学期制を採っており、1 学期は 3 月第 1 週～7 月第 2 週、2 学期は 8 月第 1 週～12 月第 2 週である。 ・ 私立校の場合は 3 学期制学校が多く、1 学期は 3 月第 1 週～5 月第 2 週、2 学期は 6 月第 1 週～9 月第 1 週、3 学期は 9 月第 3 週～12 月第 3 週である。 ・ 私立の外国系現地校（ドイツ・イギリス・フランス・米国）では、文部省指定の国語、社会科を除く科目は外国語を使用しているところが多い。 ・ 中等教育第 3, 4 年になると生徒が好きな科目を選択することができ、選択コースの中では、化学、数学、音楽、美術などの人気が高い。 ・ 大学には日本語コースもある。
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等教育には職業科学学校、専門学校、大学の 3 種類がある。職業科学学校は 2 年から 4 年のコースで、大学卒業の資格はない。専門学校も 4 年から 6 年のコースだが、大学卒業の資格がある。大学は普通 5 年から 7 年のコースだが学部によって違いがある。中等教育から大学への進学の際は、まず、12 月に行われる全国統一試験を受ける。この試験の結果は、翌週新聞で発表されるので、自分の受験番号と得点を各大学・学部の合格点を見比べて検討し、進路を決定する。2 月に一部の学部（芸術関係）で試験があるが、一般学部は書類審査でほぼ決まる。受験生は中学 4 年になると予備校に通うことが多い。 ・ 私立には名門校と呼ばれる外国系の学校が多く、いずれも幼稚園から高校まで一貫した教育を行っており、最新の教育機器はもちろん、施設・設備も整っている。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0～3 歳が対象のサラクーナと呼ばれる保育園及び 4～5 歳が対象のキンダー（幼稚園）があり、多くの子が通園している。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季休業は 12 月第 3 週から 2 月末の 3 ヶ月間、冬季休業は 7 月の 2 週間程度である。
	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初等教育の第 1 期（1～4 年生）専門科目以外は担任が指導する。第 2 期の 5～6 年生の場合は学級担任でも教科担任でもよいが、7～8 年生になると教科担任制となる。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般に、出欠席日数は厳格であり、出席率 85% 以下は落

	<p>第、または進学試験を受けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻 4 回が 1 日欠席に加算される。 ・点数は 7 点満点で、小数点以下 1 桁までつき、〇。〇であらわし、1 年の総合成績は小テストやレポート、期末試験などの点数を平均したものがそのままつく。4 以上でないと落第となる。ある科目だけ成績が悪い場合は補講を許してもらえることがある。 ・ずば抜けて成績がいい場合は飛び級がある。
教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の 7 の書き方が違う。 ・水泳の学習はほとんどの学校でやらない。 ・掃除は教室だけなので、全員でやる必要がなく、当番制で、床をモップで拭く、庭やトイレは用務員がやる。中流以上の家庭には家政婦さんがいるので、家では家事を手伝う習慣がない。
学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの私立の小学校 3 年生以上の児童生徒には、運動部及び文化部の 1 つに所属することが義務付けられており、放課後などに活動する。 ・また、各学校にはボーイスカウトが編成されており、活発に活動している。 ・独立記念日にイベントを行う。 ・遠足とか各種行事のいくつかは生徒が自主的に企画・決定して行うことができる。 ・発表会やお祭りなどの行事はあるが、日本の学校の運動会や音楽会のように練習を繰り返すようなことはしない。低学年は簡単なダンスや行列、開会式、閉会式もやらない。 ・身体測定、健康診断などはないが、予防注射は実施される。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校により、給食の有無、その充実度は異なる。専門業者に外注するところが多い。 ・弁当持参の場合、パンとりんごだけという簡単な食事をする子もいる。小さなポットのような入れ物に入れてくる子が多いが、品数は少なく、スパゲッティとかゆでたパスタと肉料理といった程度である。 ・学校に売店があり、お菓子や飲み物を売っている。
チャイムや号令	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムは毎時間ごとに、始めと終わりに鳴る。 ・号令はかけない。 ・教師が教室に入ってくると皆さっと立ち上がり声をそろえ

		て挨拶をする。頭を下げることはしない。
	校則	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が始まると門が閉められる。遅刻した場合や用があるときはブザーを押して開けてもらう。遅刻には寛容である。 ・小学校児童の早退には父母の出迎えが義務付けられている。場合によってはお手伝いさんが送り迎えをする。有料のスクールバスもあるが、学校の運営ではなく、個人の営業である。 ・服装は制服に登校着、運動着、作業着があり、着用が義務付けられている学校、制服の無い学校がある。 ・女の子はすそがくるぶしまであるような服を着てきたり、ピアス等の装身具をつける子どももみられる。 ・宿題は一般に量が多いが、週末や長期休暇などには出さないように配慮されている。 ・喫煙は禁止されている。
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に、公立、私立とも学校及び教師と家庭との連絡は緊密に行われている。 ・親が集まって行事や学校の問題などを話し合う父母会や学校の行事などは夕方から始まる。ほぼ全ての家庭で共働きだから、父母会には父親の参加が目立つ。日本のような学校主導のPTA活動はない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にお金を持って行き、子ども同士で物を売ったり買ったりする。学校にお菓子の移動販売車が来て、授業が終わった頃、校門のところに来て、子どもが買いに行く。
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかない、「シ」と「チ」の区別がつかない、「ヤ行」と「ジャ行」が混同してしまう、「ハ行」の子音が脱落してしまうことがある。
	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食はほとんどとらず、昼食は2時前後で、夕食は8時以降にとることが多い。 ・午後6時頃にオンセ（ティータイム）をとる。
	指による数え方 計算方法の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・おつりは、足し算式で小さい額から渡される。
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の気温差が激しいので、長袖の人と半袖の人が同時にいることは珍しくない。 ・住居は一軒家とデパルタメントと呼ばれるマンションである。家やマンションの入り口には呼び出し装置や開錠装置がついている。コンドミニウム形式のマンションにはポルテー

	<p>口と呼ばれる管理人のような人達が働いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内は土足で、浴室とトイレは一緒であり、家庭に2つ以上あることが多い。
交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・車は右側通行で、信号が赤でも右折できる交差点がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の第2土曜日から3月の第2土曜日までが、サマータイム制（標準時より1時間早い）になっているので、夜を楽しむ人が多い。バカシオネス（夏の長期休暇）になると、大人はもちろん子どもたちも夜遅くまで遊んでいるのが見られる。 ・18歳から社会的に大人扱いになり、お酒や車の運転などが許可される。タバコに関しては日本と違い、法律で規制はされていない。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・サンチャゴ日本人学校（「月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・チリの小学校・・・・・・・・・・・・・・・・白鷗大学研修生
- ・社会科副読本・・・・・・・・・・・・・・・・サンチャゴ日本人学校
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・・・・・・・・・井上恵子
- ・海外日本人学校勤務経験教員より